



▶29人の代表団で来日した民主労総ソウル本部から、ソンホジュン事務処長が熱烈な訴え

韓国・ドイツ・トルコから連帯のアピール

11・1集会には、ゼネストで闘つた韓国・民主労総・ウル地域本部からの29人の代表団をはじめとして、戦争と新自由主義に立ち向かう労働者・労働組合が海外から多数参加し、日本の階級的労働運動との熱い連帯のきずなを打ち固めた。

集会では、民主労総・ウル地域本部のソンホジュン事務局長、ドイツ機関労労働組合・ベルリン都市鉄道支部のクルト・シュナイダー支部長、トルコのUİD-İDER（ウイダール・国際労働者連帯協会）のジェミル・カライジュさん、さらに滑田・田口外国人労働者の多くの仲間が登場し、アピールを行った。集会後はともに銀座の街をデモ行進した。

またアメリカのUTLA（ロサンゼルス統一教組）のアーリン・イノウエさんなどから国際連帯のメッセージが寄せられた。



朝鮮有事は米日帝の戦争阻止へ

闘う労働組合の力で安倍倒せ



く右に旋回しているのを見え、

葉、港合同、関空コン

業、しかし、動労千

を始め、現場でのスト

イキでの情勢を察して

いて、この間、闘

っています。

「団結とは何やねん、

団体交渉権とは何やね

ん、団体行動権とは何

やねん」とも主張し出

していただければいい

と思います。組合はこれ

ば警察が介入し、弾圧し

てくる。「団体交渉申し

入れの」「面会費」な

どを言い、ストアキを

すると「威力業務妨害」

などと言って弾圧仕掛

相手に脅威与えるスト
でこの社会を変えよう

全日建運輸労組関西地区生コン支部書記次長



右に旋回していると思
います。しかし、動労千
葉、港合同、関西コン
は始め、現場でのスト
ライキでこの情勢を変えて
いこうと、この間、闘っ
ています。

大阪市長橋下の団結権
破壊の攻撃と闘いぬく
全国金属機械労働組合港合同委員長

「闘う労働組合のネットワークをつくらう」と

中村吉政さん

日比谷野音に集まって17年を数えるに至りました。この集会の原点は、関鉄1047名解雇撤回闘争への反動判決でした。「こんなことがまかり通ったら組合つぶしも首切りもやりたい放題になり



要だに思います。これかも知彈圧が過度な上にトライキで闘われましょ。

る」という危機感と怒りが粗足結びつへが、国労労働暴発糾起集会和て闘われましょ。

最高裁判本年6月、ト告衆知法を下し、高判決が確定しました。「分配、民営化に反対する労働組に所属するを差別しに不利益に扱目的、動機」不当労働為意思」に基づいて「不採用」が作られたと、採星輩が不当労働

「戦争させない」のボードを掲げ銀座をデモする民主労総ソウル本部の代表団

港合同は、橋本市長の影響をもちます。

大坂では、橋本市長による不当労働行為、団結権被破壊攻撃、真つ向から闘ってきまふ。橋本市長や維新の会の横暴を許さず、大坂市役でななく、すべての労働者に悪影響をもちます。

懇談会のメンバーは戦後最大の首切り攻撃、労働運動解体攻撃でた。それがもたらしたものは人命や安全を軽視した社会であらう。尼崎事故やIIR北海道の事故。

104名解雇撤回闘争が一括和解のりこえられて国鉄闘争も運動として継続してた意義は計り知れず、全国の労働組合がこの集会力にして闘いを続けています。

大坂では、橋本市長による不当労働行為、団結権被破壊攻撃、真つ向から闘ってきまふ。橋本市長や維新の会の横暴を許さず、大坂市役でななく、すべての労働者に悪影響をもちます。

懇談会のメンバーは戦後最大の首切り攻撃、労働運動解体攻撃でた。それがもたらしたものは人命や安全を軽視した社会であらう。尼崎事故やIIR北海道の事故。

104名解雇撤回闘争が一括和解のりこえられて国鉄闘争も運動として継続してた意義は計り知れず、全国の労働組合がこの集会力にして闘いを続けています。

戦争阻止へ
国鉄千葉動力車労働組合

竹爲であったことを明確に認定したのです。

中曽根元首相は「国労をつぶせば総評・社会党が崩壊する。それを明確に意識して国鉄分割・民営化をやった」と語りま

怒り結集を
委員長
田中康宏さん
ん。はじめに、30年に及ぶ国鉄闘争への温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

6月30日、国鉄分割・

ような労働組合法も守らない自治体の長を許すことはできません。団結権を破壊する者とは断固として闘う。引き続き官民連帯の地域共闘を軸に闘い抜く決意です。

戦争に 国際労働運動

参戦

ストライキ
単圧許すな

貫徹
市民の波とハンガリー
所設

「ユーリ崎幸町」の事故
年ドイツ革命の教訓（1）

2015.11
vol.2

編集・国際労働運動研究会
発行・出版最前線
ホームページ <http://shuppan-saizensen.com/>
発売・星雲社

月1回刊行 A5判/96ページ
ISBN978-4-434-21268-0

定価 本体 500 円 + 税



〈大恐慌・戦争を革命へ〉の時代に青年労働者・学生とともに進む新聞

週刊『前進』を読もう

『前進』定期購読・見本紙の申込用紙

(A) 見本紙を希望します。 (B) 定期購読します。

定期購読料 ① 1カ月 1512 円 ② 3カ月 4536 円 ③ 6カ月 9072 円
(郵送料は別)

見本紙、定期購読、購読期間のご希望のところを○で囲んでください。

お名前

住所

職業、組合、大学など

電話番号

E-mail

見本紙ご希望の方は、上記項目に記入の上、この枠内をコピーして封書で前進社あてに送ってください。最新号を無料でお送りします。

■送り先 東京都江戸川区松江 1-12-7 前進社

新自由主義と対決する総合雑誌

序局

第10号
2015年9月
定価 900円+税
編集 破防法研究会

最新号発売中!

安倍を倒し社会変えよう

戦後史の決着をかけた闘い
鈴木達夫
侵略70年 長崎の8月 安倍に対する被爆者の怒り 城喜美彌子
侵略と戦争の「70年談話」徹底批判 黒島善晴
日本の非正規職化と海外格差の実態 黒崎光晴
福島の実状と「帰還強制」 ふくしま共同診療所医師 杉井吉彦
「放射線被曝の理科・社会」を批判する 矢ヶ崎克馬
国鉄解雇撤回闘争ー闘いはこれからだー 葉山岳夫 田中康宏
動労水戸の闘いの地平 動労水戸委員長 石井真一
動労千葉の国際連帯闘争の歩み 山本弘行
労働裁判の最前線から 労働者と歩む弁護士レポート
公安警察を打ち負かした「オーンスペース街」 十亀弘史
白井佳夫の現代映画論講座

発行 出版最前線 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16石田ビル4F
発売 星雲社 〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10 Tel.03-3947-1021

リニューアル
第2巻刊行!

シリア戦争に トルコ参戦

■エルドアン政権打倒へ大ストライキ
■国際連帯の力でクルド人弾圧許すな

News & Review

韓国／民主労総が9・23ゼネストを貫徹
ヨーロッパ／EUを揺さぶる移民・難民の波とハンガリー
日本／軍需産業と一体の防衛装備庁新設

Photo News

●社会保障解体と闘う(1)「Sアミーユ川崎奇町」の事故
●マルクス主義・学習講座 1918年ドイツ革命の教訓(1)

国際連帯と階級的労働運動を

国際労働運動



2015.11
vol.2

編集・国際労働運動研究会
発行・出版最前線
ホームページ <http://shuppan-saizensen.com/>
発売・星雲社

月1回刊行 A5判/96ページ
ISBN978-4-434-21268-0

定価 本体 500 円 + 税